

地域活動のすすめ方

お願い

今後、地域活動が再開される時には、再度、感染拡大防止に配慮いただき福祉活動・ボランティア活動の推進に取り組んでいただきますようお願いいたします。

※この「すすめ方」は、全国社会福祉協議会の「新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した地域住民等による福祉活動・ボランティア活動の進め方」を参考に作成しています。

1. 集う場の環境づくりで注意すること

- 1) 接触感染を防ぐため活動の前・中・後、接触回数が多い箇所や備品などを重点的に消毒しましょう。

子育てサロンにおいては、口に何でも入れてしまう恐れのある子どもたちのために、おもちゃの共有をさけたり、遊具を頻繁に消毒しましょう。

【接触回数が多い箇所の例】

テーブル、椅子の背もたれ・座面の横、ドアノブ、電気・エアコンなどのスイッチ、蛇口、ボールペンなど文房具、レクリエーション用具等活動に用いる備品他

- 2) 飛沫感染を防ぐため、正面に立っての会話や大声を出したり、歌ったり、息が荒くなるようなプログラムを避けましょう。

- 3) 三密（密集・密接・密閉）を避けるため、会場設営に配慮しましょう。

①密集を避けるために

参加人数は、会場の収容定員の50%を上限にしましょう。

②密接を避けるために

人と人との距離を最低1m（対面は2m）あけましょう。

③密閉を避けるために

窓やドアの開放、定期的（1時間に2回以上）な換気を心掛けましょう。

風が少ない日は、ドアを開けて外側にむけて扇風機を置くと良いでしょう。

- 4) 活動日に必要な感染予防に関する準備物

消毒液、石鹸（ハンドソープ）、ペーパータオル（タオルを共有しないため）、体温計（社協に貸出用の非接触体温計があります）、手袋、ゴミ袋等

2. 参加者に協力いただきたいこと（事前にお知らせしてください）

- 1) 参加する前に自宅で体調を確認しましょう。発熱（37℃以上、もしくは平熱より1℃以上高い）、風邪症状、味覚嗅覚の異常の症状がある場合は、参加を見合わせましょう。
- 2) 会場では、次のことに気をつけてもらいましょう。
 - ①マスクの着用
 - ②こまめな手洗い、手指消毒
 - ③人と人の間隔を最低1mは保つ
 - ④水分補給用飲み物の持参
 - ⑤聞こえにくい方には、書いて伝えたり、身振り手振りで説明
 - ⑥鼻水やよだれをふいたティッシュ等のゴミは、袋に入れ自分で持ち帰る
- 3) 発熱や風邪症状があるかたが参加した場合は、次の対応をとってください。
 - ①別添「新型コロナウイルス感染症についての相談・受診の目安」に該当するかたが参加された場合は、その内容に従って対応してください。
 - ②目安に該当しなくても、ひとり暮らし等で気になるかたがおられましたら、必要に応じて電話等で安否確認を行ってください。本人の了解をえて、社会福祉協議会へ連絡いただくこともできます。

3. サロン欠席者や気になるかたに友愛訪問する際に注意すること

- 1) 発熱や風邪症状があるかたへの訪問はやめ、電話やインターホン越しで様子を伺いましょう。
- 2) 訪問時は次のことに気をつけましょう。
 - ①訪問前後の手指消毒
 - ②部屋には上がらず、玄関先で最低1m以上（相手のかたがマスクをされていない場合は、なるべく2m）間隔を開けての会話
 - ③訪問時間は15分以内が目安

相談・お問い合わせ先

社会福祉法人 京丹後市社会福祉協議会

本所（弥栄）	☎65-2100	峰山支所	☎62-4128
大宮支所	☎64-2037	網野支所	☎72-0797
丹後支所	☎75-0808	久美浜支所	☎82-0008